

2021海洋ごみ等削減に向けたカヌーによる運河清掃報告書（活動レポート）

（1）2021 B&G 東京運河ごみゼロ カヌーツーリング

1. 目的 海洋プラスチックごみによる海洋環境の汚染、生物・生態系への影響という社会課題を解決するため、カヌーやSUP等の舟艇による海洋ごみ削減に向けた清掃活動パレードを行い、イベント参加者や地域住民等へ環境保全意識を醸成するとともに海洋ごみの削減に取り組む。
2. 主催 公益財団法人ブルーシー・アンド・グリーンランド財団（B&G 財団）
3. 後援 江戸川区・墨田区
4. 協力 江戸川区カヌー協会、日本スタンドアップ・パドルボード協会
日本障害者カヌー協会、関東ブロック B&G 地域海洋センター連絡協議会
B&G 海洋クラブ 他
5. 内容 カヌー等 100 艇による海洋ごみ削減に向けた河川清掃活動およびカヌーツーリング
6. 日時 2021年11月23日（祝） 9:00～12:30
7. 開催場所 東京都江戸川区～墨田区に渡る運河コース



8. 参加者数

A グループ : 59艇 72人

B グループ : 47艇 60人

参加者合計 106艇 132人 内SUP 18艇

水上スタッフ : 22艇 22人

※その他陸上スタッフ 34人 役員 3人 関係団体役員 1人

総員 189人 (うち障害者7名)

9. 参加費

無料 (カヌー・SUP・ライフジャケット無料貸し出し)

10. マスコミ取材

- ・読売新聞
- ・カヌーワールド
- ・テレビ東京
- ・MXテレビ

(2) 地域版運河カヌーツーリング

1. 目的 海洋プラスチックごみによる海洋環境の汚染、生物・生態系への影響という社会課題を解決するため、各地にてカヌーやSUP等の舟艇による海洋ごみ削減に向けた清掃活動を行い、参加者や地域住民等へ環境保全意識を醸成するとともに海洋ごみの削減に取り組む。

2. 主催 B&G 海洋クラブ

3. 内容 SUP やカヌー等舟艇による海洋ごみ削減に向けた水上清掃活動

4. 時期 2022年3月12日(祝)～3月31日

5. 開催場所 B&G海洋クラブ活動水面 13ヶ所

6. 参加者数 143艇 218人

No.	クラブ名(略称)	実施日	実施場所	舟艇数	参加人数
1	龍ヶ崎	3月21日	龍ヶ崎市牛久沼	20	30
2	HONKI	3/15・3/23	県立辻堂海浜公園	18	18
3	葉山	3月25日	葉山町長者ヶ崎半島	7	8
4	かわげ	3月31日	マリーナ河芸港内	2	2
5	神戸	3月13日	明石市松江海岸	8	8
6	新居浜	3月27日	新居浜マリーナ周辺海岸	10	25
7	池田	3月13日	小豆島ふるさと村海岸	15	31
8	オリーブアイランド				
9	くろしお	3月20日	高知県幡多郡大月町柏島白浜	13	30
10	別府	3/12・3/13	別府湾・スパビーチ	20	29
11	トトロ	3月27日	土々呂地区赤水湾周辺	8	12
12	錦江湾	3月22日	霧島市 下井海岸から東側	17	20
13	アマニコ	3月13日	朝仁海岸～ケバマ	5	5
			計	143	218

7. マスコミ取材 テレビ高知（くろしお海洋クラブ）

8. 成果

2019年度に同河川の対岸（江東区）から200艇で実施し、今年度は400艇での実施を予定していたが、新型コロナウイルス感染症拡大の影響で、5月、9月と2回にわたり延期となった。3回目の挑戦で、オフシーズンに入っているものの、定員の100名を超える申し込みをいただき、事故なく、無事に終了できた。前日に雨が降った影響で水温は低かったものの、風も止み、日差しも出て天候には恵まれた。

また、来賓として日本財団から前田専務理事にご出席いただき、実際に清掃活動にもご参加いただけた。ご支援いただいている日本財団の役員の方に実際に現場にきて事業の実施状況をご確認いただけたことは大変ありがたいことである。財団事業への理解を深めていただく貴重な場となった。

大島小松川公園駐から出艇し、墨田区のスカイツリーの麓（北十間川）までの往復10kmを目指してツーリングしながら清掃活動を行った。スカイツリーを目指したものの、約半数が初級者ということもあり、今回は手前で折り返すこととなった。（Aグループは約3.4km地点、Bグループは約4.1km地点）今年度はSUP協会からも多くの方が参加され、また、自艇で参加する方もおり、多種多様な舟艇が浮かぶ光景がこれまでとは違うイメージの印象であった。

清掃の結果としてゴミは90ℓ袋20袋分、約1,800ℓのゴミを回収した。昨年度は河口付近で実施したため、上流からの流れてくるゴミが多く、今年度より半分の人数で実施したが、ゴミの量は今年の倍以上はあった。改めて、海洋ごみは河川から流れてくるものが8割ということもうなずける結果となった。

参加者の中には精神障害の方5名、弱視の方1名、スタッフとして土浦海洋クラブから車いすユーザーの方1名が参加された。皆さんの感想から「とても楽しかった」との声をいただき、障害の有無に関係なく参加できる事業とすることができた。

マスコミの取材を受け、11月24日（金）の読売新聞朝刊にて報道され、環境美化をPRするとともに、事業周知を図ることができた。

また、まん延防止等重点措置が解除された3月中旬以降、当該事業をB&G海洋クラブにて開催いただき、218名143艇が清掃活動に参加。舟艇を活用した清掃活動を都内だけでなく、全国に普及することができた。

9. 写真



【開会式】 菅原理事長 挨拶



日本財団 前田専務理事 ご挨拶



Aグループ集合写真



Bグループ 古山常務挨拶



出艇の様子



回収したごみ (90ℓ 20袋分)



海洋クラブで実施した清掃活動の様子



回収したごみは漁具やプラゴミが多い

以上